

優秀賞

諸橋 悠生(もろはし ゆう) 松枝小 3年生

作品名:ぼくに教えてくれた事

図書:空をけつとばせ

この本のタイトル「空をけつとばせ」を見た時空なんてけつとばせないし、空をけつとばすとは、どういう意味なんだろうと思いました。だけど表紙の絵を見てさか上がりをする話なんだと思いました。ぼくはさか上がりが出来ないので、どんな事が書いてあるのか気になったから読んでみたいと思いました。

この本は、三年生の主人公の悠斗がさか上がりが出来ないのに出来たと友だちにうそをついてしまいます。うそのまま夏休みに入ってしまった。夏休みになってからさか上りのれん習をした悠斗だったが、そんなすぐには出来ませんでした。

二学期になりじゅぎょうでさか上がりをする事になったけど出来ませんでした。しかし、悠斗はあきらめずにれん習をしていたらさか上がりが出来る様になりました。うそがうそじゃなくなりました。

この本を読んで、ぼくが悠斗にきょうかんした所は、うそをついたのに「ちがった、ちがった、まちがえた」と言えなかった所です。うそをつくつもりはなかったけど、うそをついてしまう事があります。もう少しで出来そうだったり、出来るようになりたいという思いからうそをついてしまうのかもしれない。

うそをつく事は良くない事です。うそをついてしまうと自分が大へんな思いをしてしまいます。でも、うそをついてしまってもど力する事で、うそじゃなくなるかもしれない。

悠斗もさい初にうそをついていなかったら良かったけど、うそをついた事でさか上りのれん習をたく山したので、さか上がりが出来る様になったと思いました。

そして、ぼくが一番心にのこった事は、悠斗がさか上がりが出来た事です。さい初は、さか上がりが出来なかったけど、あきらめないで、何でも何でもれん習をすれば出来る様になるんだと勇気をもらいました。ぼくも、さか上りのれん習をしているけどなかなか出来なくて、あきらめてしまう事があります。

だけど、この本を読んであきらめないでれん習する事がとても大切なんだと思

ました。

ぼくも一生けんめいれん習してさか上がりが出来る様になりたいです。